

令和5年度「まちづくり懇談会」開催報告書 【藤沢地域】

1 会の概要

日時	11月8日(水) 18:30~19:45	場所	市役所藤沢支所
対象地区	藤沢地区	対象者	藤沢地域内の保育園保護者会長等
テーマ	少子化における子育てについて		
参加者	藤沢こども園等保護者会長2名、藤沢地域小・中学校PTA会長等5名、計7名		
市出席者	藤沢支所長、次長兼地域振興課長、市民福祉課長、課長補佐兼まなび・いきがづくり係長、課長補佐兼こども・福祉係長、地域協働係長		
特記事項			

2 会で行われた意見等及び対応方針

No.	区分	項目	内容	対応方針または回答内容等	備考
1	要望	子どもの居場所について (学童や病児対応保育園等)	共働きで祖父母も働いている家庭が多い状況で、子どもの体調不良や休校時に一人で家に置けず、仕事を休まざるを得ない。自宅に祖母がいるという理由で学童を常時利用できず困っている。 フルタイムで働きたいので、学童のシステムをもっと幅広く柔軟にしてほしい。学童以外でも預かれるようなシステムがあるとよい。 また、病児対応の保育園や低学年の子どもの居場所が欲しい。	一関地域には病児保育室「すまいる」(クラリス保育所内)がある。年内中には、千厩地域で病児保育室が開設予定。	
2	要望	学区外通学について	働くことが当たり前になった今、住所地と勤務地が離れている場合、保育園は勤務地に近いところに入所できるが、小学校はできないのか。 働きやすい子育て環境を整備してほしい。		
3	その他	少子化に伴う環境	少人数の良さはあるが、小さなコミュニティで子どもの体験機会も減っている。中学校や社会に出た時になじめないのではないかという不安がある。		

4	その他	産婦人科や小児科について	産婦人科が少ない。赤ちゃんが生まれてからも近くに小児科などの病院が少なく、健診などに連れていくのが大変である。		
5	意見	小学校の統合について	藤沢地域の2つの小学校が統合しても複式学級が避けられない状況が予測されるので、市全体のエリアで考えてみてはどうか。		
6	その他	子育て相談	子育てで困ったことや子どもとの接し方などをどこに相談したらいいか、小学校に入ってからわからなくなったので知りたい。	市のこども家庭課内にある「家庭児童相談室」で対応している。県の一関児童相談所でも対応している。	
7	その他	世代間のギャップについて	親同士の交流がなく、世代間のギャップや倫理観の違いが気になる。基本的な挨拶をしないなど規範意識が低く、子どもに影響を及ぼすのではないかと心配される。		
8	その他	子育てを取り巻く環境について	子どもの数が減っていて、親同士や地域との関わりが減っていると感じている。 地域をあげて子どもたちを育てていくような地盤作りが大切だと思う。		
9	要望	旧新沼小学校の体育館について	新沼保育園の運動会が雨天により西口地区体育館で開催されたが、場所が分からず困った。すぐ近くの旧新沼小学校体育館を使わせてほしい。	閉校により、電気や水道など全て止めた。使いたい時だけ使うということができない。	
10	提案	子育てのまちについて	子育て支援として医療費助成や給食費などプラスαの魅力づくりをしてはどうか。 雇用の場を増やすことも大事だが、市外から通勤する方も多いので、住んでいる人を増やす工夫が必要だと思う。	高校生まで医療費助成（現物支給）を行っている。	
11	提案	旧新沼小学校の校舎利活用について	フリースクールを開校し、福祉面だけでなく、いろいろな学びのできる場にして、全国や海外にP		

			Rしてはどうか。 リモートワークで働く親もいると思うので、子どもを誘致してはどうか。		
12	要望	学童員の補充など	学童施設の増加、学童員の補充、安全講習などの支援として、(行政の)予算を増額してほしい。		
13	提案	人材育成	教育に重点的に力を入れて、一関市が国際的な人材を育成するとともに、一関市が人材を派遣する仕組みを作る。		
14	その他	子育て支援	孤独な子育て、一人で抱え込むことがないよう、地域や周囲の人たちがサポートできる子育て。親自身も子育てを楽しめる子育てにしたい。		